

池田市

池田のゆるキャラ「ふくまる」です
～市制施行70周年を契機としたまちづくり～

はじめまして



こんにちは! ぼく「ふくまる」です。えっ、だれだって? この間、池田の子どもたちに聞いたら半分以上の子たちが「知ってる」って答えてくれたんだけどなあ。じゃあ、自己紹介から始めるね。

ぼくの住む池田市が、今年4月29日に市制施行70周年を迎えるんだ。そこで前年から地域が一体感を持って事業を盛り上げ、お祝いムードを高めようと「福あふれるまち池田 70th」を70周年記念事業のキャッチコピーとして、全国にイメージキャラクターと記念ロゴを公募したの。そうしたら北は青森県から南は熊本県まで、全国から総数134点(キャラ73点、ロゴ61点)の応募があって、市民の皆さんも含めた「選考委員会」でぼくが選ばれたってわけさ。ぼくを創り出してくれた人は、池田の五月山動物園で飼育されているウォンバットと大黒天様をイメージしたそうだよ。

最初は名前がなかったんだけど、みんなが「それではかわいそう」だと言って名前も公募してくれたんだ。そしたら何と107件も寄せられて、市役所内の実行委員会などの皆さんの投票で「ふくまる」って素敵な名前をつけてもらっちゃった。

取組をご紹介します

ぼくの自己紹介はこれぐらいにして、次は70周年を記念した具体的な取組を紹介するね。最初に市役所では「70周年事業推進プロジェクト」と「70周年事業庁内実行委員会」、次に池田のいろんな団体の人たちが「市民実行委員会」をつくったんだ。これらの委員会は20年度からイベントなどを実施するのに、より効果的・効率的な事業を企画・立案することなどが目的なんだって。市民実行委員会のメンバーは31人だよ。

70周年のコンセプトが少し難しい言葉だけど「温故知新」っていうんだ。そこで、市制10周年を記念して昭和24年4月に生まれた「池田市歌」にスポットを当てようってことになったの。今年の4月で60歳。すごいよねえ。人間なら還暦って言うんだって。歌詞もとても素敵で、池田の自然と歴史・文化が美しい言葉で書かれているよ。70周年事業にかかわらず、いろんな催しで歌われることが多くなったので、ぼくも練習して覚えたんだ。池田市のホームページ(http://www.city.ikedai.osaka.jp/ikedai_access/ikedai_gaiyou/ikedai_what/shika.html)に歌詞が載っているし、実際に聞くこともできるので、みんなも一度聞いてみてね。



70周年記念イベントを開催中



そんな準備が進む中、「70周年記念」の文字が入ったイベントが、4月初めの「さくらまつり」からスタートしたんだ。中でもゴールデンウィーク前に行われた、ぼくの友達で同じ「福あふれるまち池田」のシンボル「ビリケン」さん像の除幕式は、落語会や植木市などに多くの人に来てくれて、とても盛り上がったんだよ。7月にはリニューアルオープンした呉服小学校「くれは音楽堂」横の、プロムナード（18メートル）を使った七夕様の飾り付けをしたんだ。ぼくの願い事は…。フフっ、それは内緒だよ。12月にはメジャーリーグで活躍する岡島秀樹投手が、中学生の野球チームの子どもたちを対象にして野球教室。大きなクリスマスプレゼントに、みんな大喜びだったよ。

ほかにも、小学生を対象にした「上方落語鑑賞会」や夏恒例の「市民カーニバル」、ソフトボールやバスケットボールなどのスポーツ大会、ダンス選手権大会も行われているんだ。

今後はテレビでおなじみの番組の公開録画も池田で行われる予定になっていて、今からドキドキしているよ。だって、ぼくの姿が全国ネットで放送されるんだもん。どこかからスカウトされるかもしれないしね。

年賀状でも福を運ぶよ

イベントのほかにも、ぼくのイラストや記念ロゴの入った缶バッジや垂れ幕、名刺に貼るためのシールが作られて、みんなで70周年を盛り上げようとしているよ。そうそう、夏の盆踊りのときにはうちわも作られたし、11月末にはオリジナルの年賀はがきにも登場したんだ。1万枚が即日で完売したんだって。手にできなかった皆さんには「ごめんなさい」だけど、届いた人は今年もハッピーな一年になると思うよ。

また「不景気、不景気」と言われるので、ぼくの福を皆さんに分けようと、1万円で1万5000円分が使える特別商品券を「ふくまる商品券」として発売。池田市内のいろんなお店で使えるんだ。もちろん、ぼくが目印だよ。

最後に重大発表！

この場を借りて皆さんにご報告することがあります。それは…何と、ぼく婚約したんです。彼女は恥ずかしがり屋なので、今は似顔絵だけしか公表できないけど、結婚後は夫婦そろって池田の70周年をPRしたいと思っています。もしかしたら、年内に「赤ちゃん誕生！」なんてことになるかもしれません。

そんなこんなで、今年は去年以上に忙しくなりそうだけど、家族のため、池田のために頑張ります。皆さんも池田はもちろん、ぼくたちのファミリーのこともヨロシクお願いしますね。

